

アート・フェスタ 2014

中学1・2年生対象

美術系5大学による体験授業が充実!

未来のアーティストを育成します!

中学校美術の先生方に向けた講座も用意しました。

日時

11月22日(土)

9:30~12:30

会場

京都市立銅駝美術工芸高等学校

わくわく
アート体験!
お申し込みは
銅駝美術工芸高校ホームページから
cms.edu.city.kyoto.jp/weblog/index.php?id=300407
またはFAXで
075-211-8994
各講座とも定員になり次第締め切ります。
受講料無料

■本校ホームページから

「アート・フェスタ2014」申し込みフォームをご利用ください。

■FAXでのお申し込み

ホームページ「アート・フェスタ2014」申し込み用紙を
プリントアウトの上、必要事項を記入してお送りください。



Illustration by Yoko Hanaoka

▼中学1・2年生対象

- A 「白と黒の世界を楽しむ」 定員 15 名・担当 京都市立芸術大学
- B 「木製スプーンの螺鈿・色漆の模様の研ぎ出し」 定員 15 名・担当 京都市立芸術大学
- C 「自分だけのオリジナルノートブック制作」 定員 15 名・担当 京都精華大学
- D 「オリジナル・マトリョーシカ制作」 定員 15 名・担当 成安造形大学
- E 「ドリームキャッチャー制作」 定員 15 名・担当 成安造形大学
- F 「フィギュア制作・平面を立体にする方法」 定員 15 名・担当 京都嵯峨芸術大学短期大学部

▼中学校美術科教員対象

- G 「芸術によるコミュニケーション教育の手法と評価」 定員 10 名・担当 京都造形芸術大学
- H 「模写を通して学べる教育」 定員 10 名・担当 京都嵯峨芸術大学



市営地下鉄東西線「京都市役所駅」下車 徒歩7分
京阪電車「神宮丸太町」下車 徒歩5分
市バス「京都市役所前」下車 徒歩5分

主催 京都市立銅駝美術工芸高等学校

後援 京都芸術教育コンソーシアム

協力 京都教育大学美術領域専攻

アート・フェスタ 2014

11月22日(土) 9:30~12:30

会場 京都市立銅駝美術工芸高等学校

中学1年・2年生向け アート体験授業内容

A

「白と黒の世界を楽しむ」

【定員 15名】

京都芸大に伝わる水墨絵手本（玉泉習画帖原画）をもとに、墨による表現を楽しみます。絵手本に描かれた水墨画はどのように描かれたのか。絵手本の線はどちらから、どんな速度で描かれたのか。その時、筆はどのように使われたのか？

謎解きからはじめます。

担当 京都市立芸術大学 日本画研究室 准教授 川嶋 渉
●エプロンなど墨がついてもても良い服装を持参してください

D

「オリジナル・マトリョーシカ制作」

【定員 15名】

みなさんはどんな絵の具を使って絵を描いたことがありますか？ 絵の具にはたくさんの種類があります。この体験授業では、いろいろな絵を描くための道具を紹介し、その効果を知るとともにオリジナルマトリョーシカを作ります。

担当 成安造形大学 美術領域 講師 高田 学
●筆記用具を持参してください

B

「木製スプーンの螺鈿・色漆の模様の研ぎ出し」

【定員 15名】

日本の伝統工芸である漆の知識を学び、簡単な漆の技法を体験します。（螺鈿、色漆の研ぎ出し技法は日本刀の鞘塗などに見られます。）木製スプーンはあらかじめこちらで模様や螺鈿を入れ、漆を塗り重ねてあります。研ぎ出し具合により皆さんが模様を作り出し、磨き上げて仕上げます。

★かぶれにくく作られた本漆を使いますが、人によってはかぶれる場合がありますので、ご了解ください。

担当 京都市立芸術大学 漆工研究室 准教授 安井 友幸
●エプロンなど多少汚れても良い服装を持参してください

E

「ドリームキャッチャー制作」

【定員 15名】

ドリームキャッチャーは、インディアンの中で、お守りとして幸運を呼び、悪運を払い、夢を実現してくれると信じられており、イヤリングやペンダント、家の壁飾りなどとして使われています。イーグルフェザー（鷲の羽）や皮素材、ビーズなどのキットを使って自分だけのオリジナルドリームキャッチャーを作りましょう。

担当 成安造形大学 空間デザイン領域 教授 水谷 米博
●筆記用具を持参してください

C

「自分だけのオリジナルノートブック制作」

【定員 15名】

上製本の制作工程によるオリジナルノートブック制作をします。あなたの描いた装丁が、オリジナルノートブックというプロダクトに代わる醍醐味を体験してください。

担当 京都精華大学 デザイン学部プロダクトデザイン学科
ライフクリエーションコース 准教授 米本 昌史

F

「フィギュア制作・平面を立体にする方法」

【定員 15名】

平面で描かれたものを立体に変換する作業を解説しつつ、体験します。2次元の絵を3次元の立体にすることは、簡単なことではありません。より多くの情報が必要になるからです。平面の横側や後ろ側、そういったことの説明の中で、いろいろなことに気付きながら、紙粘土を使用して立体作品を制作しましょう。

担当 京都嵯峨芸術大学短期大学部 客員教授 安斎レオ

中学美術科先生向け 講座内容

G

「芸術によるコミュニケーション教育の手法と評価」

【定員 10名】

京都造形芸術大学が実践してきた「対話型授業」を、体験を交えながら先生方にお伝えします。

対話型鑑賞の基本的な進め方から協働的な活動まで、実際の授業でも再現しやすい手法をご紹介します、評価の方法までレクチャー。また参考資料として、対話型授業のドキュメントブックと対話型鑑賞のガイドブックをお配りします。

担当 京都造形芸術大学 アートリンクセンター主任 石山 潤
アートコミュニケーション研究センター講師 北野 諒

H

「模写を通して学べる教育」

【定員 10名】

古来から模写手本は絵画を学ぶ重要な手本として教育に取り入れられてきました。しかし、現在ではその教育は消えつつあります。今、模写から何が学べるのかを、実際に描きながら考えてみましょう。本来模写は手法が技術だけでなく、情操教育の役割を果たしていたことを感じる機会とします。

担当 京都嵯峨芸術大学 芸術学部 教授 仲 政明